

コトバンクを検索

検索

垂水斎王頓宮跡 (読み) たるみさいおうとんぐうあと

国指定史跡ガイド「垂水斎王頓宮跡」の解説

たるみさいおうとんぐうあと【垂水斎王頓宮跡】

滋賀県[甲賀](#)(こうか)市土山町[頓宮](#)にある宮殿跡。横田川を望む[丘陵](#)の麓に位置し、886年（仁和2）以来、斎王が伊勢参拝に際して宿泊した仮宮跡。斎王とは天皇即位のたびに選ばれて[伊勢神宮](#)に奉仕する[未婚](#)の[皇女](#)のことで、皇女の[一行](#)が途中で宿泊のために立ち寄ったところが頓宮(とんぐう)とされる。斎王の一行は近江国の[勢多](#)(せた)、甲賀、[垂水](#)、伊勢国の[鈴鹿](#)(すずか)、[一志](#)(いちし)の頓宮に宿泊し、5泊6日の[行程](#)で伊勢に赴いたという。1944年（昭和19）に国の[史跡](#)に指定された。現在は[土手](#)や井戸跡が残っている。JR草津線ほか貴生川(きぶかわ)駅から甲賀市コミュニティバス「白川橋」下車、徒歩約5分。

出典 [講談社](#) / 国指定史跡ガイドについて [情報](#)

もう一度検索

検索



[利用規約](#) [お問い合わせ](#)